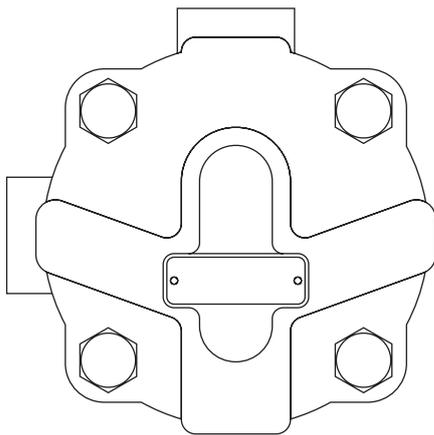
1448150/8

spirax sarco

IM-P148-13
ST Issue 8

CA10S型,CA14型,CA14S型
エアーおよびガス･トラップ
取扱説明書

1. 安全のための注意

取扱説明書に従って、有資格者が、設置・始動・保守点検を正しく行なうことにより、これらの商品が安全に稼動できます。配管および工場建設の工事説明書、安全のための注意に従って、適切な工具を使用し、安全設備を整えて行なわなければなりません。

警告
CA14S型のカバー・ガスケットおよびメイン・バルブ・アセンブリーのガスケットには、薄いステンレス鋼製のサポート・リングが含まれています。怪我をしないように取扱いおよび廃棄には十分注意してください。

遮断
遮断弁を閉じると、システムの他の部分あるいは人体に危害が及ぶことがあります。ベントあるいは保護機器を遮断すること、制御機器あるいは警報機を無効にすることは非常に危険です。遮断弁の開閉はゆっくりと行なってシステムへの衝撃を防いでください。

圧力
保守を行う前に、配管内にどのようなものが残留しているのかあるいは流れていたのか、十分に確認してください。特に燃えやすいもの・身体に危険を及ぼすもの・温度の極端に高いもの、または低いものです。圧力を遮断して、安全に大気圧まで排気されていることを確認してください。二重の遮断・排気弁の設置・バルブ閉止の施錠や表示を行なうよう考慮してください。スパイラックス・サーコのDV型ブローダウン・バルブを取り付けると容易に行うことができます。（詳細は別の資料をご覧ください）圧力計がゼロを示してもシステムの圧力が完全に抜けたと思わないでください。

温度
火傷の危険を避けるため温度が常温になるまで作業を休止してください。
化学薬品・高温／低温・放射線・騒音・落下物等の危険がある場所では防護服を着用してください。
目および顔面への危険を避けるためヘルメット・防護眼鏡を使用してください。

バイトン-CA14型メイン・バルブ・コーン
メイン・バルブ・コーン（バイトン製）が315℃に近い温度にさらされると、フッ化水素酸を発生することがあります。皮膚に触れたり、ガスを吸い込まないように気を付けてください。火傷や呼吸器に障害を起こす可能性があります。

廃棄
取扱説明書に特別の記述がない場合リサイクルできます。廃棄の際は適切な処置を行なうことにより環境汚染を生じることはありません。次のものを除く：

バイトン-CA14型メイン・バルブ・コーン
- 廃棄部品は自治体の規則に適合する場合、埋立てできます。
- 廃棄部品は焼却できます。スクラバーを使用して、フッ化水素を除去しなければなりません。
  自治体の規則に従ってください。
- 水媒体に溶けません。

2. 商品仕様

2.1 概要

CA10S

(20A ねじ込み)
CA10S 型は、空気および気体システム用のフロート式自動液体ドレン・トラップです。本体とカバーは鋳鉄製です。ステンレス鋼のバルブ・ヘッドがついており、高温あるいは腐食性のドレンでゴム製のバルブでは耐えられない環境でも使用できます。

CA14 および CA14S

(15A および 20A ねじ込み、 15A, 20A および 25A フランジ)
CA14 型は、空気および気体システム用のフロート式自動エアー・トラップです。本体およびカバーはダクタイル鋳鉄製で、簡単に保守を行なえます。CA14 型(標準品)はバイトン製のコーンが付いており、 CA14S 型はステンレス鋼製のコーンが付いています。

(15A, 20A および 25A フランジのみ)
カバーには、均圧管を取り付けるための、15A Rp またはNPT の穴あけおよびタップ立てができます。水平配管のフランジ接続で、流れ方向:右から左の CA14(R-L) 型または左から右の CA14(L-R) 型があります。

CA14S

(40A および 50A フランジ)
CA14S 型は鋳鉄製のフロート式エアー・トラップです。水平接続で、ステンレス鋼製のバルブ・コーンもご提供できます。カバーに、均圧管を取り付けるための 15A Rp またはNPT の穴あけおよびタップ立てができます。

オプション

ドレン・コックタップ立て:カバーにドレン・コックを取り付けるための 10A Rp またはNPT の穴あけおよびタップ立てができます。

注記:
詳細は以下の技術資料をご覧ください。:

商品		接続	材質	章	技術資料
CA10S	20A	ねじ込み	鋳鉄	2.2 章	TI-P148-15
CA14	15A および 20A	ねじ込み	ダクタイル鋳鉄	2.3 章	TI-P148-36
CA14S	15A および 20A	ねじ込み	ダクタイル鋳鉄	2.3 章	TI-P148-36
CA14	15A, 20A および 25A	フランジ	ダクタイル鋳鉄	2.4 章	TI-P148-12
CA14S	15A, 20A および 25A	フランジ	ダクタイル鋳鉄	2.4 章	TI-P148-12
CA14S	40A および 50A	フランジ	鋳鉄	2.5 章	TI-P148-35

2.2 CA10S-鋳鉄

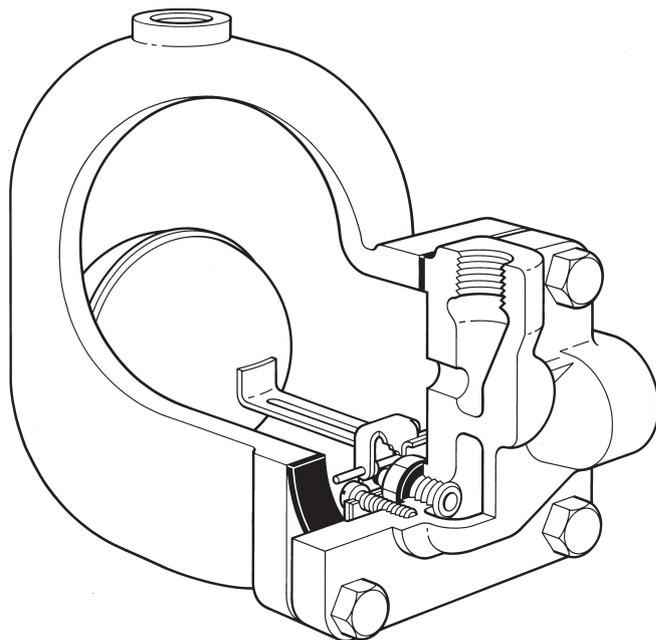
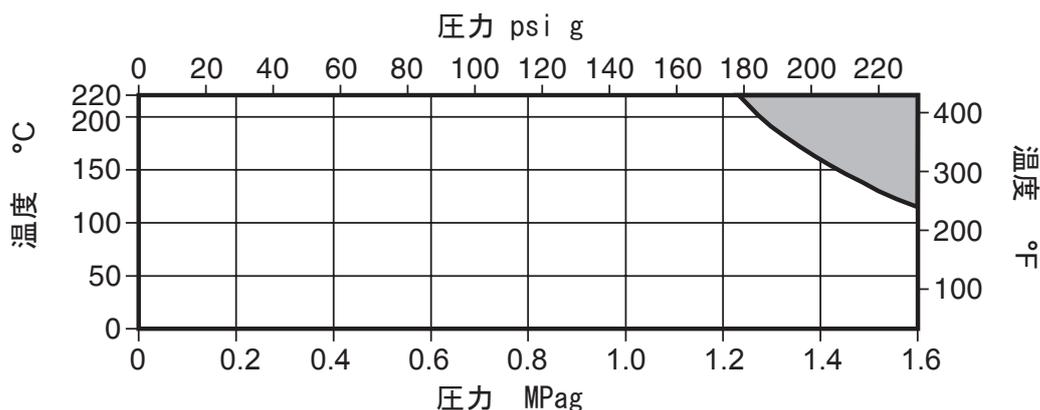



図1. 20A ねじ込み　Rp

口径および配管接続

20A ねじ込み　Rp（BS 21 parallel）または NPT
均圧管用に 15A のタップ立てができます。

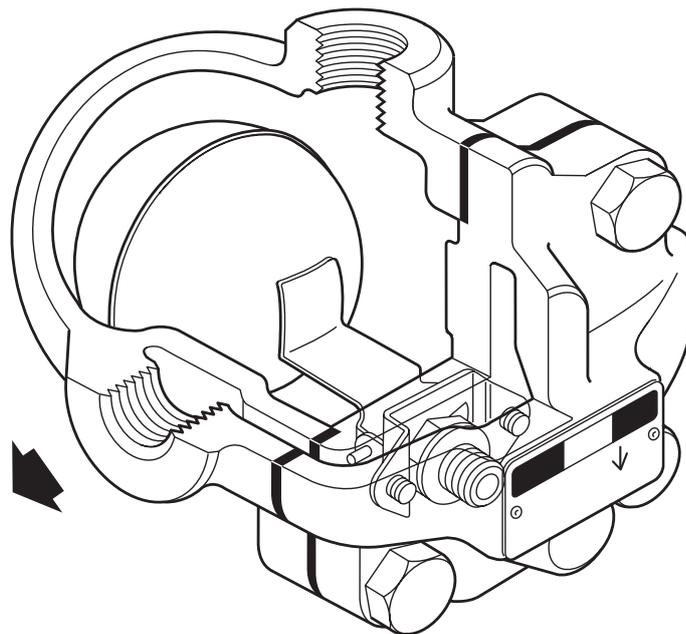
圧力 / 温度限界

この商品はこの領域では使用できません。

本体設計定格	PN16	
PMA 最高許容圧力	(120°Cの時) 1.6 MPag	(248°Fの時) 232 psi g
TMA 最高許容温度	250°C	482°F
最低許容温度	0°C	32°F
PMO 最高使用圧力	(120°Cの時) 1.6 MPag	(248°Fの時) 232 psi g
TMO 最高使用温度	(1.21 MPagの時) 220°C	(174 psi gの時) 428°F
最低使用温度	0°C	32°F
△PMX 最大許容差圧、ドレンの比重によります。		

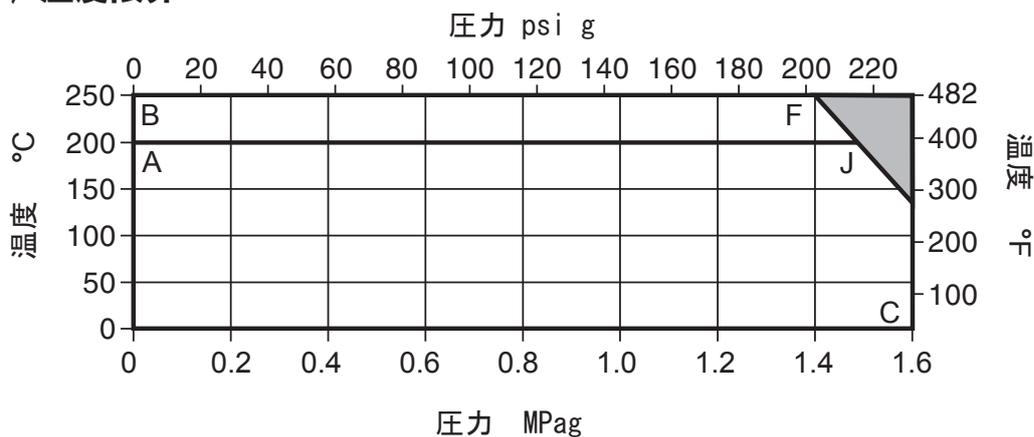
比重	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6(最少)
△PMX(MPa)	1.40	1.38	1.17	0.86	0.50

△PMN 最低差圧	0.01 MPa	
最高テスト圧力	2.4 MPag	(348 psi g)

2.3 CA14およびCA14S-ダクタイル鋳鉄

図 2. 15A ねじ込み Rp

口径および配管接続

15A および 20A ねじ込み Rp または NPT

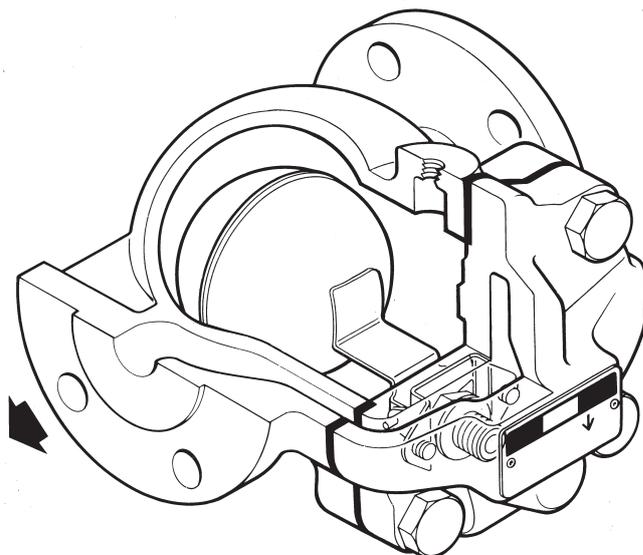
圧力 / 温度限界

この商品はこの領域では使用できません。

A-J-C CA14 ねじ込み Rp、NPT

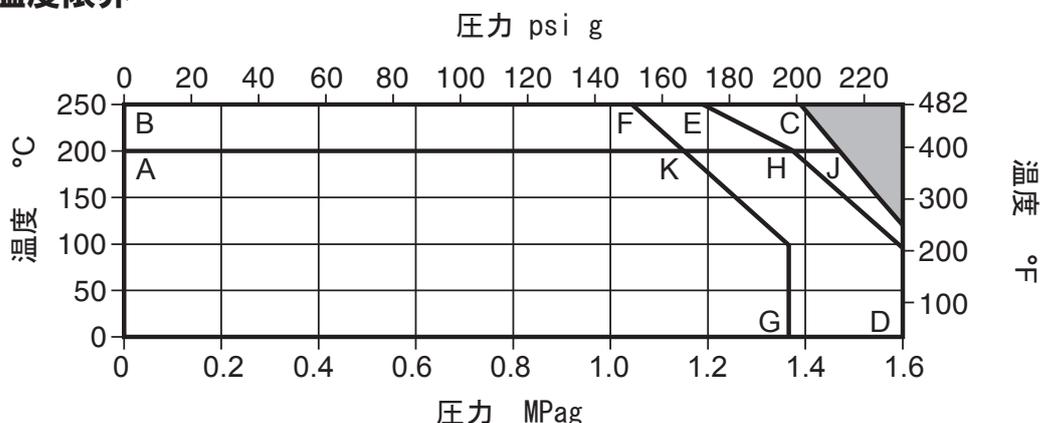
B-F-C CA14S ねじ込み Rp、NPT

本体設計定格			PN16		
PMA 最高許容圧力			(120° Cの時) 1.6 MPag		(248° Fの時) 232 psi g
TMA 最高許容温度			250° C		482° F
最低許容温度			0° C		32° F
PMO 最高使用圧力			(120° Cの時) 1.6 MPag		(248° Fの時) 232 psi g
TMO 最高使用温度	CA14		(1.47 MPagの時) 200° C		(213.15 psi gの時) 392° F
	CA14S		(1.39MPagの時) 250℃		(201.6 psi gの時) 482° F
最低使用温度			0° C		32° F
△PMX 最大許容差圧、ドレンの比重によります。					
比重	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6(最少)
△PMX(MPa)	1.40	1.40	1.40	0.90	0.50
△PMN 最低差圧			0.01 MPa		
最高テスト圧力			2.4 MPag		(348 psi g)

2.4 CA14およびCA14S-ダクタイル鋳鉄

図 3. 20A フランジ

口径および配管接続

15A, 20A および 25A
フランジ EN 1092 PN16,ANSI 150 およびJIS10K
均圧管用に15Aのタップ立てができます。

圧力 / 温度限界

この商品はこの領域では使用できません。

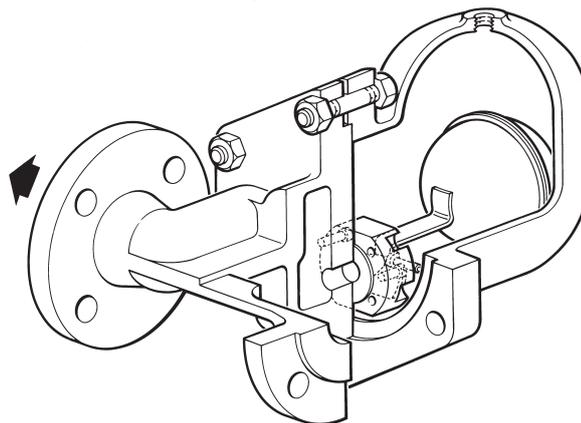
A - J - D	CA14 フランジ PN16
A - K - G	CA14 フランジ JIS10K
A - H - D	CA14 フランジ ANSI 150
B - C - D	CA14S フランジ PN16
B - F - G	CA14S フランジ JIS10K
B - E - D	CA14S フランジ ANSI 150

本体設計定格		PN16	
PMA 最高許容圧力		(120° Cの時) 1.6 MPag	(248° Fの時) 232 psi g
TMA 最高許容温度		250° C	482° F
最低許容温度		0° C	32° F
PMO 最高使用圧力		(120° Cの時) 1.6 MPag	(248° Fの時) 232 psi g
TMO 最高使用温度	CA14	(1.47 MPagの時) 200° C	(213.15 psi gの時) 392° F
	CA14S	(1.39MPagの時) 250℃	(201.6 psi gの時) 482° F
最低使用温度		0° C	32° F
△PMX 最大許容差圧、ドレンの比重によります。			

比重	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6(最少)
△PMX(MPa)	1.40	1.40	1.40	0.90	0.50

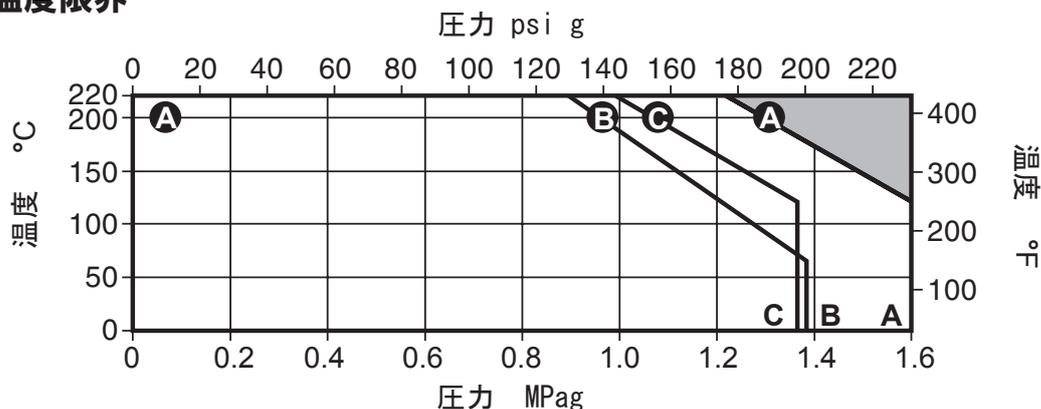
△PMN 最低差圧	0.01 MPa	
最高テスト圧力	2.4 MPag	(348 psi g)

2.5 CA14S

図 4. 40A フランジ

口径および配管接続

40A および 50A
標準フランジは EN 1092 PN16
ご要望により ANSI B 16.1 / BS 1560 Class 125 および JIS10K フランジが可能です。
均圧管用に 15A のタップ立てができます。PN フランジは Rp 均圧管用に、ANSI, JIS は NPT 均圧管用に使用できます。

圧力 / 温度限界

この商品はこの領域では使用できません。

A - A - A フランジ EN 1092 PN16
A - B - B フランジ ANSI B 16.1/BS 1560 Class 125 フラット・フェイス
A - C - C フランジ JIS10K

本体設計定格				PN16	
PMA 最高許容圧力				(120° Cの時) 1.6 MPag	(248° Fの時) 232 psi g
TMA 最高許容温度				220° C	392° F
最低許容温度				0° C	32° F
PMO 最高使用圧力				(120° Cの時) 1.6 MPag	(248° Fの時) 232 psi g
TMO 最高使用温度				(1.22 MPagの時) 220° C	(176.9 psi gの時) 392° F
最低使用温度				0° C	32° F
△PMX 最大許容差圧、ドレンの比重によります。					
比重	**1.0**	**0.9**	**0.8**	**0.7**	**0.6(最少)**
△PMX CA14S-4.5	0.45	0.45	0.45	0.34	0.20
△PMX CA14S-10	1.00	0.95	0.68	0.55	0.34
△PMX CA14S-14	1.40	1.40	1.10	0.80	0.50
△PMN 最低差圧				0.01 MPa	
最高テスト圧力				2.4 MPag	(348 psi g)

3. 設置

注記:設置を始める前に1章の‘安全のための注意’をご覧ください。

警告
CA14S型のカバー・ガスケットおよびメイン・バルブ・アセンブリーのガスケットには、薄いステンレス鋼製のサポート・リングが含まれています。怪我をしないように取扱いおよび廃棄には十分注意してください。

取扱説明書、銘板および技術資料を参照して、商品が目的にあっているか、確認します。

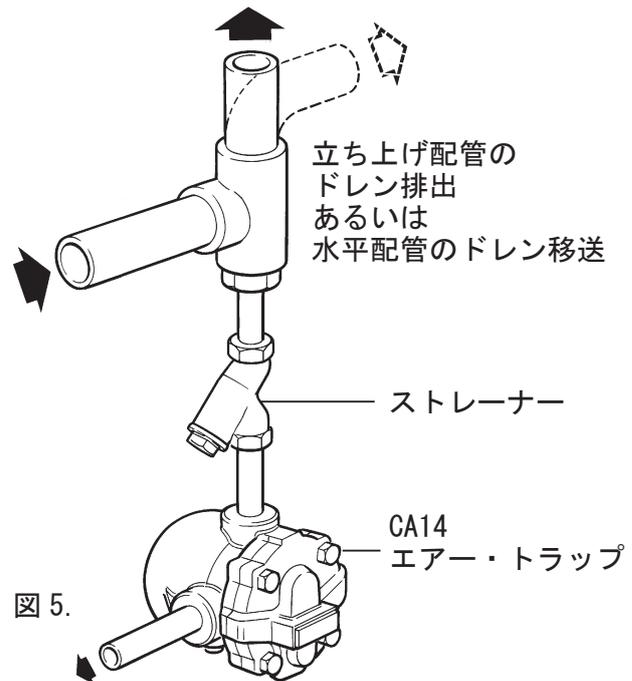
3.1 材質、圧力および温度の最高値を調べます。もし、商品の最高使用限度が、取り付けるシステムの限界より低い場合は、過剰圧力を防ぐ安全装置が備わっていることを確認します。

3.2 設置場所および流体の流れ方向を決めます。

3.3 蒸気やその他の高温の流体に接する前に、全ての接続部のカバーおよび銘板の保護フィルムを外します。

3.4 **CA10S、CA14およびCA14S型**
(15Aおよび20A　ねじ込み)
トラップは、フロートが垂直に上下できるように、入口を上にして水平配管に設置してください。
図5,6,7に代表的な設置例を示しています。

CA14およびCA14S型
(15A、20A、40Aおよび50A　フランジ)
トラップは、フロートが垂直に上下できるように、水平配管に設置してください。この向きでは流の方向は左から右、あるいは右から左になります。

図 5.

注記:図5は均圧配管がない設置を示しています。

3.5 トラップはドレン排出の下に取り付けます。銘板の矢印を下に向けます。エアー・ブリードがなく良好な動作が確保できるのがフロート式の利点の一つです。しかしエアー・ブリードがないので、条件によっては空気障害が起こることがあります。
負荷が低い場合、例：本管排水、および本体の空気は水が通過するにつれ移動できます。
負荷が高い場合、例：クーラーあつい はレシーバー排水装置の後で、本体の空気は移動できません。
別の均圧管が必要です。一次側の後に均圧管を取り付ける必要があります。トラップの空気障害を防ぐため、均圧管が必要かは、現場で試してから決めることができますが、**疑問がある場合には、均圧管の使用をお奨めします。**

注記：大気中に排出する場合、排出温度は100℃になります。安全なところに排出してください。

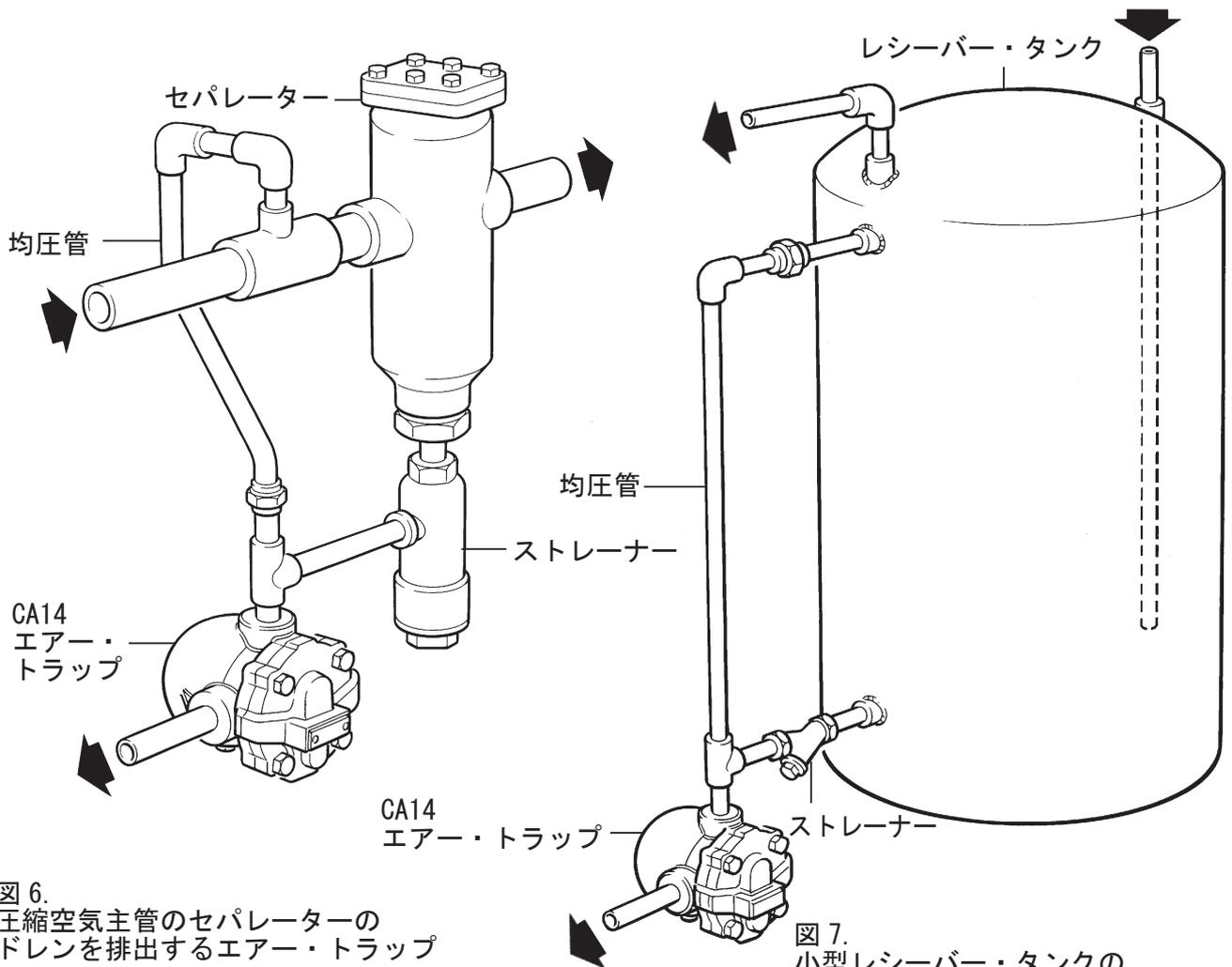



図 6.
圧縮空気主管のセパレーターの
ドレンを排出するエアー・トラップ

図 7.
小型レシーバー・タンクの
ドレンを排出するエアー・トラップ

図 6、7 均圧管の設置例

4. 始動

設置あるいは保守の後、システムが完全に機能していることを確認します。警報機あるいは保護機器のテストを実施します。

5. 運転

CA10型およびCA14型エアー・トラップは、空気およびガス・システムから流体を除去し、絶えず排出を続けます。流体がトラップのメイン・ちゃんバーに入るとすぐに、フロートが上がり、それに付いているレバー・メカニズムが働いてメイン・バルブが開き、絶えず流体の排出を続けます。空気あるいはガスが到達すると、フロートが下がり、メイン・バルブがきちんと閉じます。トラップの空気障害をふせぐため、均圧管が必要です。フロート・トラップは、負荷に瞬時に対応でき、締め切りが完全にでき、ウォーターハンマーおよび振動に耐えるという信頼を得ています。

6. 保守および予備部品

6.1　CA10S型（20A,ねじ込み）

注記:設置を始める前に1章の‘安全のための注意’をご覧ください。

警告
カバー・ガスケットおよびメイン・バルブ・アセンブリーのガスケットには、薄いステンレス鋼製のサポート・リングが含まれています。怪我をしないように取扱いおよび廃棄には十分注意してください。

保守の前に：

- 適切に遮断すると、配管にトラップを取り付けたままで保守を行うことができます。
- 再組立の時は、すべての接続面がきれいになっていること、位置決めピンがカバーに置かれていることを確認します。

メイン・バルブ・アセンブリーの取付方法：

・ 遮断し、カバー・ボルト(2)を外し、既存のメカニズム（5, 6, 7, 8 + 12, 9, 10, 11)を取り外します。
・ ねじ山およびガスケット(6)にジョイント用のペーストを薄く塗り、新しいバルブを本体(5)に取り付けます。推奨トルクで締めつけます。（表1参照）
・ サポート・フレーム(10)およびピボット・フレーム(11)を、本体(5)にアセンブリー・セットねじ(7)で取り付け、締め付けないでおきます。
・ ピン(9)を使ってフロート・アーム(8+12)をピボット・フレーム(11)に取り付け、アセンブリーを動かして、バルブ・ヘッドがシート・オリフィスの中心に来るようにします。アセンブリーをそのままの状態に保ち、セットねじ(7)を推奨締め付けトルクで締めつけます。（表1参照）
・ フロートを数回上下させて、作動を点検します。バルブ・ヘッドが正しくシートの中心にあることことを確認します。
・ 全ての接続面がきれいなことを確認して、カバー・ボルトのねじ山(2)焼き付き防止コンパウンドを薄く塗ります。
・ 新しいカバー・ガスケット(3)を使って、カバー(4)を取り付けます。
・ 推奨締め付けトルクで、カバー・ボルト(2)を均等に締め付けます（表1参照）。
・ 通常の運転状態に達するまで、ゆっくりと遮断弁を開きます。
・ 漏れがないか調べます。

表1　推奨締め付けトルク

No.	部品	又は mm		N m	(lbf ft)
2	カバー・ボルト	17 A/F	M10 x 30	29 - 32	(19 - 23)
5	バルブ・シート	17 A/F	M12 x 8	50 - 55	(37 - 40)
7	ピボット・フレーム・アセンブリー・セットねじ	チーズねじ	M5 x 20	2.5 - 2.8	(1.8 - 2.1)

予備部品

予備部品は実線で示されています。破線で描かれている部品は予備部品としてご提供しておりません。

予備部品

フロート付メイン・バルブ・アセンブリー	5, 6, 7, 8 + 12, 9, 14, 15, 16
ガスケット・セット（3セット入）	3, 6

予備部品の注文方法

必ず予備部品欄の名称を使用し、トラップの型式と口径を指定してください。
例：20A、CA10S型エアー・トラップ用、ガスケット・セット ・・・1個

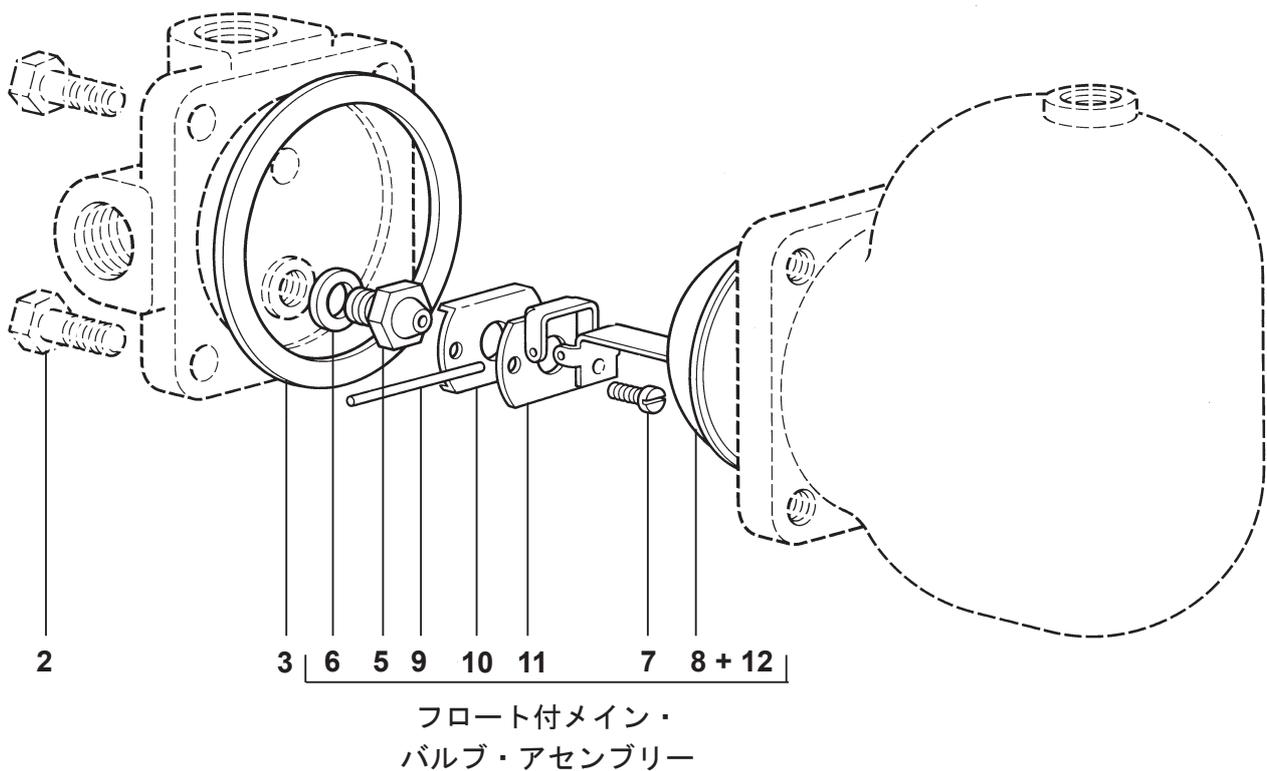



図 8.

6.2　CA14型およびCA14S型（15Aおよび20A,ねじ込み）

注記:設置を始める前に1章の‘安全のための注意’をご覧ください。

警告
カバー・ガスケットおよびメイン・バルブ・アセンブリーのガスケットには、薄いステンレス鋼製のサポート・リングが含まれています。怪我をしないように取扱いおよび廃棄には十分注意してください。

保守の前に:
- 適切に遮断すると、配管にトラップを取り付けたままで保守を行うことができます。
- 再組立の時は、すべての接続面がきれいになっていることを確認します。

メイン・バルブの取付方法-CA14：
・ カバー・ボルト(2)を緩め、カバー(4)を持ち上げて外します。ピボット・ピン(11)を引き抜き、ピボット・フレーム(10)からフロートとレバー(9)を外します。
・ メイン・バルブ・コーン(5)を押して外し、新しいものに取り換えます。
・ 再組立をして、新しいガスケット(3)を使用して、カバー(4)を取り付けます。
・ カバー・ボルト(2)を、推奨締め付けトルク（表2)で均等に締め付けます。
・ 通常の運転状態に達するまで、ゆっくりと遮断弁を開きます。
・ 漏れがないか調べます。

メイン・バルブ・アセンブリーの交換方法-CA14、CA14S：
・ カバー・ボルト(2)を緩め、カバー(4)を持ち上げて外します。
・ 2本のねじ(8)を外し、フロート・アセンブリー全体（9, 10, 11, 5)を取り外します。
・ メイン・バルブ・シート(6)を外し、新しいものと交換します。この時、交換品に付属の新しいガスケット(7)を使用してください。
・ アセンブリー・セットねじ(8)を推奨締め付けトルク(表2)で締め付け、新しいフロート・アセンブリー全体（9, 10, 11, 5)を取り付けます。
・ 新しいガスケット(3)を使って、カバーを取り付けます。
・ 推奨締め付けトルク(表2)で、カバー・ボルト(2)を均等に締め付けます。
・ 通常の運転状態に達するまで、ゆっくりと遮断弁を開きます。
・ 漏れがないか調べます。

表2　推奨締め付けトルク

No.	部品	又は mm		N m	(lbf ft)
2	カバー・ボルト	17 A/F	M10 x 30	47 - 50	(35 - 37)
6	バルブ・シート	17 A/F	M12	50 - 55	(36 - 40)
8	ピボット・フレーム・アセンブリー・セットねじ	プラスドライバー	M4 x 6	2.5 - 3.0	(1.8 - 2.2)

予備部品

予備部品は実線で示されています。破線で描かれている部品は予備部品としてご提供しておりません。

予備部品

メンテナンス・キット	CA14	3, 5, 6, 7, 8(2個), 9, 10, 11
	CA14S	3, 6, 7, 8(2個), 9+5, 10, 11
シール・キット	CA14	3, 5

予備部品の注文方法

必ず予備部品欄の名称を使用し、トラップの型式と口径を指定してください。
例：15A、CA14型エアー・トラップ用、メンテナンス・キット ・・・1個

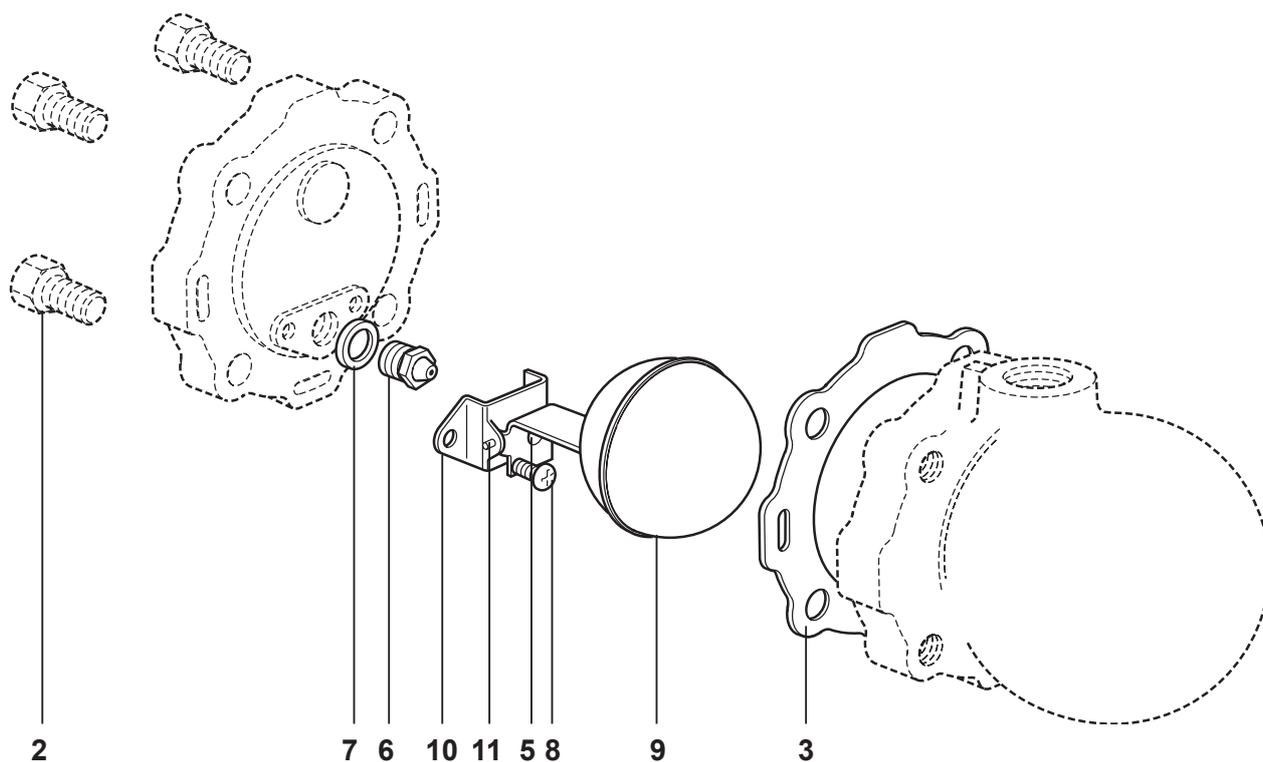



図 9.

6.3　CA14およびCA14S型（15A,20A,25A,フランジ）

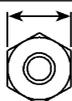
注記:設置を始める前に1章の‘安全のための注意’をご覧ください。

警告
カバー・ガスケットおよびメイン・バルブ・アセンブリーのガスケットには、薄いステンレス鋼製のサポート・リングが含まれています。怪我をしないように取扱いおよび廃棄には十分注意してください。

保守の前に：
- 適切に遮断すると、配管にトラップを取り付けたままで保守を行うことができます。
- 再組立の時は、すべての接続面がきれいになっていることを確認します。

メイン・バルブの取付方法-CA14：
- ・カバー・ボルト(2)を緩め、カバー(4)を持ち上げて外します。ピボット・ピン(11)を引き抜き、ピボット・フレーム(10)からフロートとレバー(9)を外します。
- ・メイン・バルブ・コーン(5)を押して外し、新しいものに取り換えます。
- ・再組立をして、新しいガスケット(3)を使用して、カバーを取り付けます。
- ・カバー・ボルト(2)を、推奨締め付けトルク（表3)で均等に締め付けます。
- ・通常の運転状態に達するまで、ゆっくりと遮断弁を開きます。
- ・漏れがないか調べます。

メイン・バルブ・アセンブリーの交換方法-CA14、CA14S：
- ・カバー・ボルト(2)を緩め、カバー(4)を持ち上げて外します。
- ・2本のねじ(8)を外し、フロート・アセンブリー全体（5, 9, 10, 11, 13(25Aのみ))を取り外します。
- ・メイン・バルブ・シート(6)を外し、新しいものと交換します。この時、交換品に付属の新しいガスケット(7)を使用してください。
- ・アセンブリー・セットねじ(8)を推奨締め付けトルク(表3)で締め付け、新しいフロート・アセンブリー全体を取り付けます。
- ・新しいガスケット(3)を使って、カバー(4)を取り付けます。
- ・推奨締め付けトルク(表3)で、カバー・ボルト(2)を均等に締め付けます。
- ・通常の運転状態に達するまで、ゆっくりと遮断弁を開きます。
- ・漏れがないか調べます。

表3　推奨締め付けトルク

No.	部品	(六角) 又は mm	(ねじ)	N m	(lbf ft)
2	カバー・ボルト	17 A/F	M10 x 30	47 - 50	(35 - 37)
6	バルブ・シート	17 A/F	M12 x 12	50 - 55	(37 - 40)
8	ピボット・フレーム・アセンブリー・セットねじ	プラスドライバー	M4 x 6	2.5 - 3.0	(1.8 - 2.2)

予備部品

予備部品は実線で示されています。破線で描かれている部品は予備部品としてご提供しておりません。

予備部品

メンテナンス・キット	CA14S	3, 6, 7, 8(2個), 5+9, 11, 13(25Aのみ)
	CA14	3, 6, 7, 8(2個), 5+9, 10, 11
シール・キット	CA14	3, 5

予備部品の注文方法

必ず予備部品欄の名称を使用し、トラップの型式と口径を指定してください。
例：15A、CA14型エアー・トラップ用、メンテナンス・キット　・・・1個

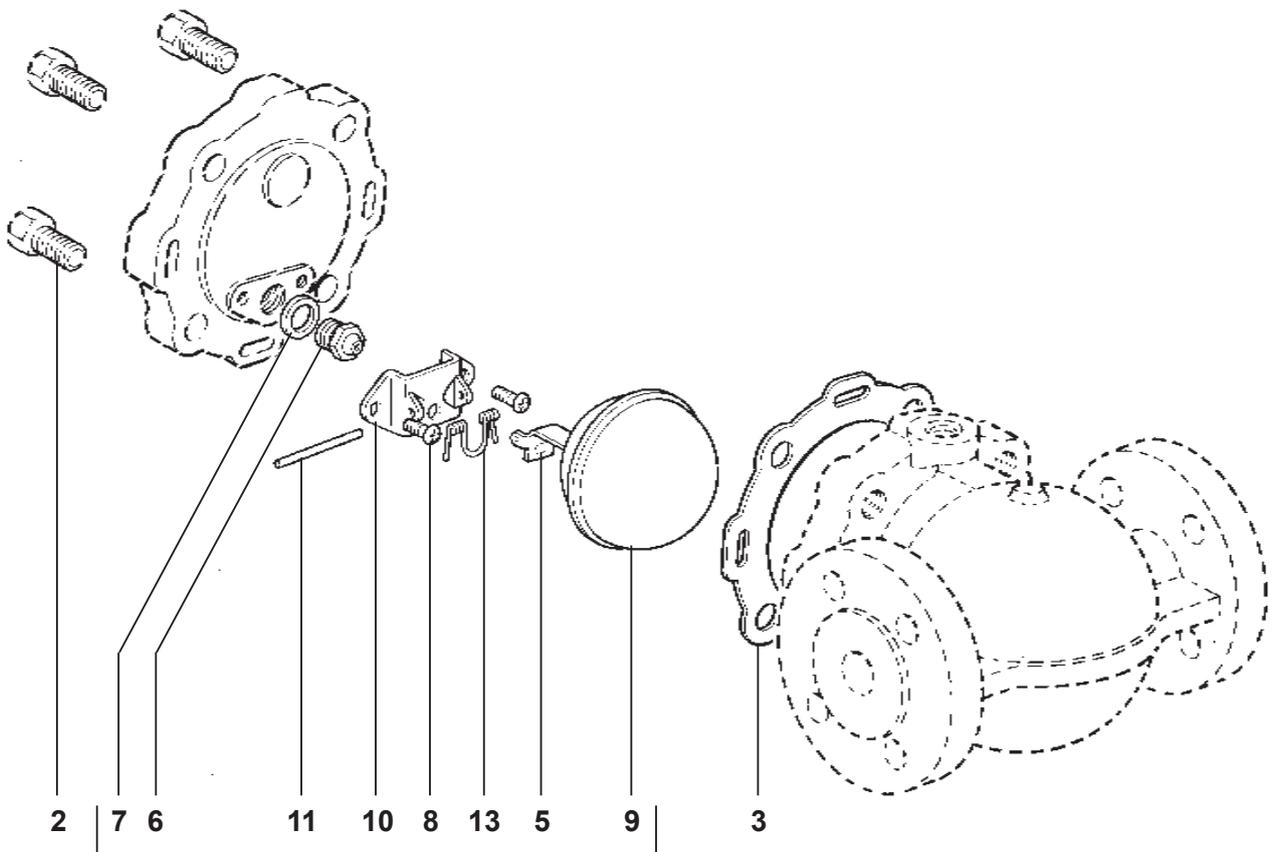



図 10.

6.4　CA14S型（40A,50A,フランジ）

注記:設置を始める前に1章の‘安全のための注意’をご覧ください。

警告
カバー・ガスケットおよびメイン・バルブ・アセンブリーのガスケットには、薄いステンレス鋼製のサポート・リングが含まれています。怪我をしないように取扱いおよび廃棄には十分注意してください。

保守の前に：
- 適切に遮断すると、配管にトラップを取り付けたままで保守を行うことができます。
- 再組立の時は、すべての接続面がきれいになっていること、位置決めピンがカバーに置かれていることを確認します。

メイン・バルブ・アセンブリーの取付方法：
・ カバーボルト(2)を外し、カバーを持ち上げて外します。
・ 2本のねじ(6)を外し、フロート・アセンブリー全体（7, 8, 9, 10, 11)を取り外します。
・ メイン・バルブ・シート(5)を外し、新しいものと交換します。この時、交換品に付属の新しいガスケット(14)を使用してください。推奨締め付けトルク(表4)で締め付けます。
・ 本体に、サポート・フレーム(9)およびピボット・フレーム(10)をアセンブリー・セットねじ(6)で取り付け、締め付けないでおきます。
・ ピン(11)を使用して、フロート・アーム（7&8）をピボット・フレーム(10)に取り付け、アセンブリーを動かして、バルブ・ヘッドがシート・オリフィスの中心に来るように置きます。アセンブリーをそのままの状態に保ち、セットねじ(6)を推奨締め付けトルク(表4)で締め付けます。
・ フロート(7)を数回上下させて、作動を点検します。バルブ・ヘッドが正しくシート(5)の中心にあることを確認します。
・ 全ての接続面がきれいなことを確認して、カバー・ボルト(2)に焼き付き防止コンパウンドを薄く塗ります。
・ 推奨締め付けトルク(表4)で、カバー・ボルト(2)を均等に締め付けます。
・ 通常の運転状態に達するまで、ゆっくりと遮断弁を開きます。
・ 漏れがないか調べます。

表4　推奨締め付けトルク

No.	部品	口径	数量	(六角) 又は (ねじ) mm		N m　(lbf ft)	
2	カバー・スタッド およびナット	40A 50A	6 6	19 A/F 24 A/F	M12 M16	60 - 66 80 - 88	(44 - 48) (58 - 65)
5	バルブ・シート	40A.50A	1	17 A/F	M12	50 - 55	(37 - 40)
6	ピボット・フレーム・ アセンブリー・ボルト	40A､50A	2	チーズねじ	M5 x 20	25 - 28	(18 - 20)
13	マウンティング・プレート 取付けボルト	40A 50A	4 4	10 A/F 13 A/F	M6 M8	10 - 12 20 - 24	(7 - 9) (15 - 17)

予備部品

予備部品は実線で示されています。破線で描かれている部品は予備部品としてご提供しておりません。

予備部品

フロート付メイン・バルブ・アセンブリー*	5, 6, 7+8, 9, 10, 11, 14
(*浸食ディフレクターは工場で本体に組み付けられています。予備部品ではありません)	
ガスケット・セット（3セット入）	3, 14

予備部品の注文方法

必ず予備部品欄の名称を使用し、トラップの型式と口径を指定してください。

例：40A、CA14S型エアー・トラップ用、ガスケット・セット ・・・1個

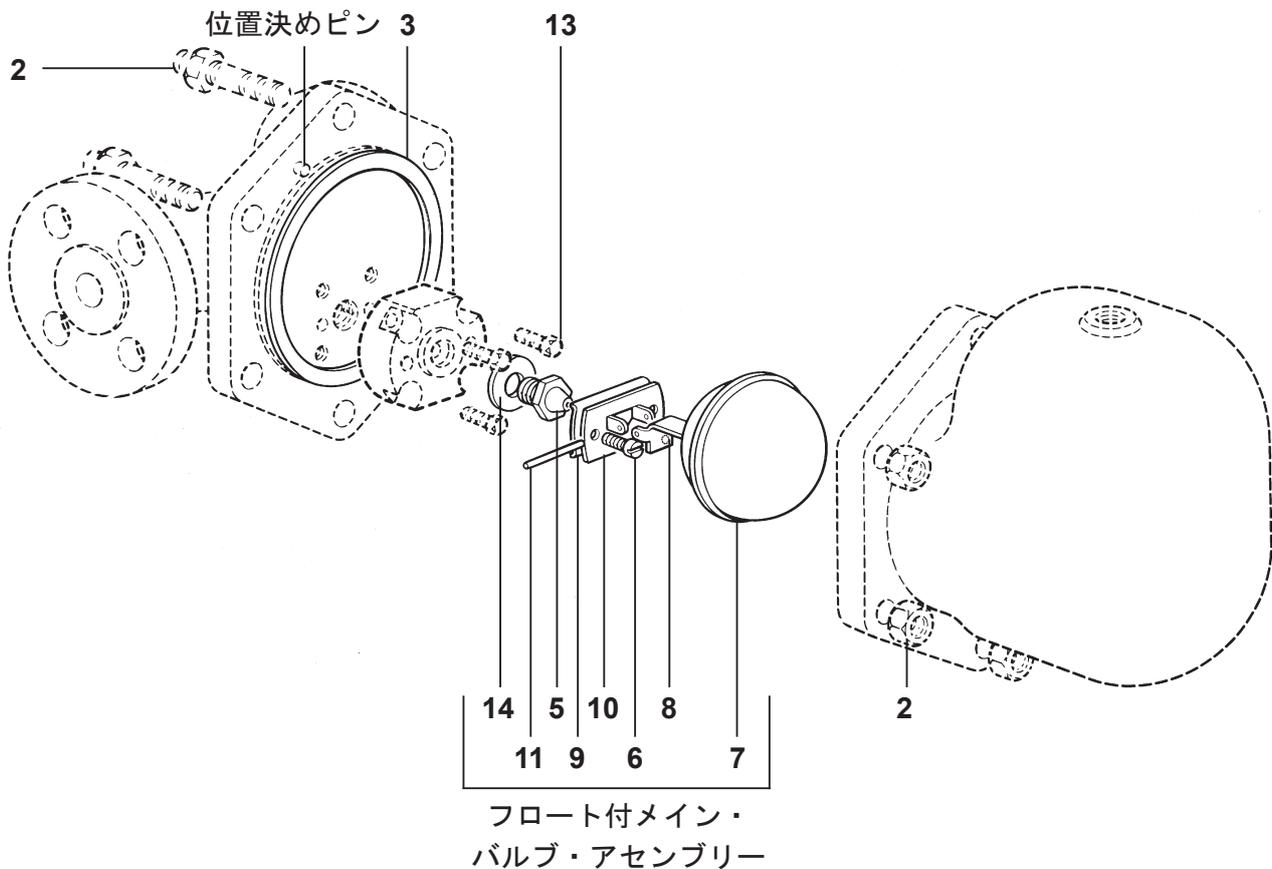



図 11.

お問い合わせは下記営業所もしくは取扱い代理店までお願いいたします。

本社･イーストジャパン・ノースジャパン

■電話（フリーダイヤル）	■FAX	■住所	
技術サポート：0800-111-234-1	(043)274-4818	〒261-0025	千葉市美浜区浜田2-37
ご注文・お問合せ：0800-111-234-2			

ウエストジャパン

■電話（フリーダイヤル）	■FAX	■住所	
技術サポート：0800-111-234-1	(06)6681-8925	〒559-0011	大阪市住之江区北加賀屋2-11-8
ご注文・お問合せ：0800-111-234-3			北加賀屋千島ビル203号

取扱説明書の内容は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。